

24 西伊豆歩道（廻り崎コース）

廻り崎コースは富士見遊歩道と接続する。また、このコースは通称

「恋人岬」と呼ばれ、富士山と夕日の美しい岬である。ここで好きな人の名前を呼んでラブコールベルを鳴らすと愛が実ると言われている。この後、恋人岬事務所で「恋人宣言書」にサインすれば「恋人宣言証明書」と記念品が、お二人が結婚すれば祝電と記念品がもらえるほか、数々の特典がある。

毎年、2月14日のバレンタインデーと3月14日のホワイトデーには、恋人たちを対象にしたイベントが行われる。

修善寺駅から松崎行き、長八美術館行きのバスで1時間3分、小下田で下車。コースの入口は国道を少し行った右手に案内板がある所であるがその前に**最福寺**へ寄っていこう。
最福寺には先代住職が私財を投じて作った資料館・夢の実現堂（入館無料）があり、三舟（勝海舟・山岡鉄舟・高橋泥舟）や三名僧（一休・白隱・良寛）の墨跡、当地出身の第14世本因坊秀和が使った碁碁セット、土肥出身で日本のカラー写真の開発者・長口富吉の文献など、その他貴重な資料が展示されている。寺の入口には罔暮殿堂入りを果たし

た秀和の顯彰碑もある。

た秀和の顕彰碑もある。



▲イズサイフクジシダレ

24西伊豆歩道（廻り崎コース）

廻り崎「ースは富士見遊歩道」と接続している。突端の廻り崎は通称「恋人岬」と呼ばれ、富士山と夕日の美しい岬である。ここで好きな人の名前を呼んでラブコールベルを鳴らすと愛が実ると言われている。この後、恋人岬事務所で「恋人宣言書」にサインすれば「恋人宣言証明書」と記念品が、お二人が結婚すれば祝電と記念品がもらえるほか、数々の特典がある。

毎年、2月14日のバレンタインデーと3月14日のホワイトデーには、恋人たちを対象にしたイベントが行われる。

修善寺駅から松崎行き、長八美術館行きのバスで1時間3分、小下田

で下車。コースの入口は国道を少し行った右手に案内板がある所であるが、その前に最福寺へ寄つてこよう。

最福寺には先代住職が私財を投じて作った資料館・夢の実現堂（入館無料）があり、三舟（勝海舟・山岡鉄舟・高橋泥舟）や三名僧（一休・白隱・良寛）の墨跡、当地出身の第14世本因坊秀和が使った用具セツト、土肥出身で日本のカラー写真の開発者・長口富吉の文献など、その他貴重な資料が展示されている。寺の入口には開基殿堂入りを果たし

た秀和の頭影碑もある。

境内で4月初めには平成13年に登録された新品種の桜・イズサイフクジシダレ（伊豆最福寺枝下れ）が咲き、毎年花祭りが開催されている。

コースの案内板から緩やかに簡易舗装された道を下る。段々になつた正面にキラキラと輝く海と廻り崎が望める。時折、鐘の音が風に乗って聞こえてくるのは、岬の先端で恋人たちが鳴らすラブコールベルである。小さな橋を渡ると端正な顔をした石仏（馬頭観音）が1体。左手に「おかる滝」と呼ばれる小さな滝が落ちている。

道なりに下り、大きくカーブした先の分岐を左に下る。この辺りア

富士山を望む岬の先端で愛を確かめ合う恋人たちは、口工の栽培が盛んなどころで、冬場にはあたり一面アロエの花ただけになる。

二つ目の小さな橋でまた分岐。その先に祠と不動の滝がある。分岐を右に下れば米崎の港だ。小さな漁村で港には数隻の漁船が係留されている。伊勢エビ漁が盛んで、秋の漁期には伊勢エビの水揚げ風景が見られる。

急な坂を上り、集落の外れから山道へと入る。米崎の集落を後にして急な舗装道を上ると分岐。左に上る道は恋人岬のバス停へ通じている。コースは右の山道を行く。マツ林や竹林を過ぎ海岸性特有の樹林の中を歩く。道が急になると富士見遊歩道・恋人岬へのボードウォークにぶつかる。階段を上がって恋人岬へ。

ウッドデッキの恋人岬は富士見展望台。北に土肥方面の山並み、そして海上に浮かぶ富士山、遠く南アルプス。西に三保方面、駿河湾に行き交う漁船の姿もオモチャのようだ。

デッキにはラブコールベルとアロエの「アモーレ」像があり、ひきりなしに訪れた恋人たちが鐘を鳴らしていく。

▲ウバメガシの林



コースタイム(参考)

修善寺駅

バス 小峰 40分 峰 40分 恋人岬 25分 恋人岬(恋入岬)

67分

大草山 15分 朝霧 10分 富士見展望台(恋入岬) 15分 港 15分 小下田 20分 米崎 15分 崎 15分

バス 63分

修善寺駅

